

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年8月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300765
法人名	有限会社 三井・メディックス
事業所名	グループホーム 上祓川
所在地	鹿児島県鹿屋市上祓川8469番地1 (電話) 0994-40-5130
自己評価作成日	平成29年6月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年7月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・のどかな田園の中に当施設はあり、近所には商店や郵便局があり、買い物や散歩に出かけたり地域の行事(棒踊りや八月踊り)などにも参加し交流を図っている。
- ・「住み慣れた地域の中で～笑顔で満足あきらめない～」を理念に掲げ、少しでも出来る可能性に注目し、利用者様が自分で何かひとつでもできるようになる事で、自信や喜びに繋がり自立した生活に近づくことができるようチームで話し合いケアに取り組んでいる。
- ・加齢や持病の悪化などで、状態が重症化した場合でも、利用者様やご家族の望む暮らしを支えることができるように、ホームでの体制や対応を検討し、また主治医や医療機関、その他の関係機関と連携を図りながら対応を行っている。
- ・利用者様の殆どの方が入浴を楽しみにされており、歩行や立ち座りができない方でも、リフトを設置し使用することで安全に安心して浴槽に浸ることができる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、町内会に加入し、多くの地域行事にも積極的に参加する一方、事業所行事にも地域の人々や家族・ボランティアの受け入れなどを行っている。棒踊りなどの踊り連がホームの前で踊ったり、日常的に地域と交流している。
- ・職員は入居者の一人ひとりを把握し、日々の生活に喜びや自信を持たせ、その人らしい暮らしが送れるよう対応している。ぬり絵や計算ドリル・音楽等、楽しく支援している。
- ・浴室にリフトを設置したり、排泄委員会で検討して、個々人に適切な排泄用品を使用するなど、福祉機器や排泄用品に配慮している。
- ・職員は利用者の思いや希望を把握して、外出や地域行事への参加などに取り組んでいる。
- ・行事年間計画をたて、戸外の活動を取り入れて、初詣や遠足・花見等、楽しいことを工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「住み慣れた地域の中で、笑顔で満足あきらめない」を理念に掲げ、ミーティングや学習会の中でも理念について取り上げ日々のケアに取り組んでいる。	地域密着を踏まえた理念を作成し、ホールやトイレに掲示している。パンフレットにも掲載している。ミーティングや職員会議で話し合い、確認しながら取組みを共有して、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事（棒踊り、八月踊り）などに参加したりしている。また、散歩に出かけたり近隣の有人販売所などに買い物に出かけたりしている。時には、野菜を頂く事もある。	町内会に加入し、地域の行事に出かけたり、地域の方々の訪問もある。近くの店の買い物や近所から野菜や花の差し入れもある。運営推進会議のメンバーの声かけや地域の高齢者の相談など受けることもあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入居希望の相談時には、サービスの内容や特徴などを説明し、その時のご家族の要望に応じて対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヵ月に1回運営推進会議を開催し、市役所職員、消防団長、民生委員、家族代表、法人代表者などが出席し、運営の状況や入居者の様子、事故等の報告を行っている。会議の内容について意見や助言を頂き運営に活かしている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催している。入居者の状況・外部評価の報告・避難訓練の反省等を報告し、助言などを受け意見交換している。介護施設の送迎の問題等の意見が出され、当ホームの安全面に配慮している現状を報告している。出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>事業所内で判断が難しい事や事故発生時など、その都度連絡を行い相談を行っている。運営推進会議にも参加して頂いており、施設の状況なども理解して頂けるように努めている。</p>	<p>日頃から窓口に出かけ、ヒヤリハットや事故報告・困難事例等で相談したり、電話で話している。市からメールでの送信がある。福祉課とも密に連携をとっている。市主催の研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束マニュアルがあり、職員は学習会や外部研修に参加し、身体拘束について学習している。昼間は施錠せずに、外に出られる利用者の方においては付き添いを行うなどの対応を行っている。毎月のミーティングの中でも、日々のケアについて振り返り意識するようにしている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿っての学習会を実施したり、外部研修に参加し、職員の共通認識を図っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待に関する研修や学習会などでもテーマで取り上げ、職員が理解を深めるような取り組みを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見人制度を利用する事例が無い事や、制度の仕組み、内容について学ぶ機会が少ない。今後は、学習会や研修などにて学ぶ機会を作っていきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は充分時間をかけて、契約書に基づき説明を行っている。利用料金や契約解除の取り決め、入居者の方の状況で起こり得るリスク面などについても説明を行い同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者の方からは、日々の関わりの中で本人の思いや意見を把握するように努めている。年2回の家族参加の行事の際や面会時には、入居者の方の様子等を報告しながら、家族の意見や要望を頂ける様に声かけなどを行っている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や行事参加時・電話・運営推進会議などが意見を聞く良い機会となっている。毎月の「上祇川便り」で現状報告を行っている。出された意見や要望は職員で話し合い、運営に反映させている。意見箱も設置してある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月ミーティングを実施し、職員の意見や要望などを聞く機会としている。</p>	<p>毎月のミーティングや学習会の時に意見や提案を聞いている。管理者と職員とのコミュニケーションも良く、排泄介助について・個々に応じたパットの使用等のケアの改善など、意見を反映させている。個別に相談も受けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格に応じての手当もあり、資格取得への意欲や、やりがいなどに繋がっている。勤務については、職員の希望に応じて調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内で年間計画に基づいて学習会を開催し、グループワークなどを通して同法人内の施設職員と一緒に学び知識や技術の向上に努めている。また、大隅地区介護事業所連絡協議会主催の研修などにも交代で参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内での学習会や大隅地区介護事業所連絡協議会などの研修会に参加するなど、交流の機会を作り、お互いの悩みやサービスの質の向上に向けて意見交換などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に可能であれば見学に来て頂いたり、入院中であれば面会等を通して本人の要望や不安など確認し、落ち着いて生活できるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談に来られた際に、ご家族の困っている事や状況を確認し、要望に沿えるように話し合いを行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>自宅での介護が困難なケースも多いが、本人や御家族の状況を確認し、他サービスを含め検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の方の能力に応じてできる事は一緒に行ない、また出来ない部分もお互いに協力し合い生活することを意識している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>施設内での本人の生活状況などをこまめにご家族へ伝え、本人が望む暮らしに近づけることが出来るように職員と家族で協力している。ご家族の協力の下、電話をかけたり、外出外泊が可能なケースもある。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族の協力を得ながら、自宅へ帰ったり墓参りなどに出かけている。また、お盆やお正月などには、入居者の方の親戚の方などの訪問もあり、気軽に訪ねて頂ける雰囲気作りを心がけている。</p>	<p>馴染みの友人の訪問があり、お茶を出して懇談している。受診の帰りに自宅周辺に出かけている。理美容院も利用している。家族の協力で墓参り・寺参り・外泊等、馴染みの人や場との関係継続の支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う入居者同士がゆっくり過ごせるようにテーブル配置など考慮している。お茶や食事の時間はスタッフも一緒に席に着き入居者同士が関わり合えるように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入居者の方が退居してからも、ご家族が施設に遊びに来られたり、相談に来られるケースもあり対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分で意思伝達できる方は、要望に応じて対応している。例えば、買い物やドライブなど希望に応じて外出する事もある。上手く表現できない入居者の方は、関わりを通し表情や言動に注意し、またご家族に情報を得ながら把握するようにしている。	日々の関わりの中で、希望を聞いたり言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。日常の支援の中で、希望するお茶の時間とかを聞くようにしている。ぬり絵・パズル・計算ドリル等、意向の把握に努めている。困難な場合は、家族から情報を得て、職員間で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族などより情報を得ながら、施設側の都合にならないように注意している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の生活スタイルに合わせて、就寝起床時間や入浴など希望に応じて対応している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意向を確認し、主治医の意見も確認しながら計画書を作成している。定期的にモニタリングを行い、変化ある時は随時見直しを行っている。	本人から思いを聞き、家族からは面会や電話で意向を確認し、主治医の意見を入れて担当者会議で話し合い、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、状況の変化により、見直しは随時行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を行い、体調面や食事、排泄、水分などを記入。また、本人の様子や変化、職員の対応等も記録に残し介護計画の見直しに活かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて、買い物や送迎等を随時行っている。また、ホーム看護師で受診の介助を行ったり、入院や退院時の支援なども行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の委員の中に、消防団長、民生委員、町内会長などの参加があり、情報や意見交換などを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や御家族の希望するかかりつけ医や専門医の受診を行っている。受診はホーム看護師にて実施し、主治医への情報提供や指示などを的確に行えるように努めている。受診の結果は面会時やお便りの中で報告を行っている。	本人・家族の希望するかかりつけ医を支援している。通院は必要に応じて家族の協力をもらい、職員看護師が対応している。職員看護師による健康管理を行い、緊急時の対応など適切な医療が受けられるよう支援している。受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置しており、医療連携体制がある。毎日の健康状態の確認など行い変化に気付いた際は報告を行い、必要時受診をするなどの対応を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、必要な情報提供を行い入院中は面会等を行いながら状況を把握するように努めている。利用者の身体状況や病状が安定した状態で早期に退院ができるように関係者との連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期の指針について契約時に説明し同意を頂いている。重度化した際は、本人、ご家族の意向を確認し、主治医やその他訪問看護ステーションなどの関係機関との連携を図りチームで支援している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を、契約時に本人・家族に説明し同意書をもっている。状況の変化により家族の今後の意向を聞いて、主治医と話し合い関係者と連携を図っている。訪問看護ステーションとの連携も図り、随時意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は普通救命講習や学習会などにて、急変時の対応や応急処置の方法などを学習している。マニュアルもあり、随時確認できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防火訓練などを消防署立会いの下に夜間を想定して実施している。災害時の備蓄品なども定期的に確認を行い補充している。</p>	<p>消防署立会いのもとで年2回、昼夜想定避難訓練を実施している。運営推進会議参加者や地域の消防団の参加もある。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、緊急連絡網に町内会長や民生委員・消防団も登録されるなど地域との協力体制もできている。「救急隊への情報提供カード」も特定所に保管している。玄関にヘルメットを常備し、水や米・食料品・薬・カセットコンロ等の備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者個人に合わせた声かけ対応を心がけている。外部の接遇研修などにも参加している。特に排泄や入浴介助時などはプライバシーに注意している。</p>	<p>マニュアルを作成して内部研修や外部の接遇研修に参加している。利用者一人ひとりの個性を把握して、人格の尊重とプライバシーを尊重している。入室のノックやトイレ誘導・おむつ交換・入浴介助等で羞恥心に配慮している。名前の呼び方にも気配りしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>施設内で1日の大まかな流れは決まっているが、本人がしたい事、就寝起床や入浴の時間など希望に添えるように対応している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の思いや状況に応じて、職員の都合にならないように意識している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人で着る服を選んだり、定期的に散髪や毛染めをするなど、おしゃれやを楽しめるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況に応じて、食事の形態を合わせて提供している。食事や水分の摂取状況を確認し、摂取がすまない方には、本人の好む物を取り入れたりしている。食事の際は職員もテーブルと一緒に着き、楽しい時間になるように雰囲気作りも行っている。	嗜好調査を実施し利用者の嗜好に添った献立や食事形態を工夫している。栄養委員会があり、偏りのない献立作成で、季節の食材を使用している。行事食のひな祭りやおせち料理、誕生会など、楽しみなものになるよう支援している。利用者に応じて野菜の皮剥きや片付けを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事や水分摂取量を確認し、職員が把握できるように記録している。水分摂取が困難な方には、ゼリーで提供したり栄養補助食品を取り入れたりしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけを実施している。自分で出来る方は実施して頂き、1日1回は職員で磨き清潔に保てるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を確認し、個々の排泄パターンの把握に努めている。日中は布パンツを着用して頂き、時間誘導などを行ない可能な限りトイレで排泄することを支援している。尿取りパットを使用する際も、本人に合った種類などを検討し選択するようにしている。	排泄チェック表で排泄パターンの把握に努め、タイミングを捉えてトイレ誘導を行っている。日中は布パンツを利用し、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は排泄委員会で検討し、個々人に合わせて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排泄状況を確認し、食事の中で献立の工夫を行ったり、適度な運動（体操）や日常的に立ち座りの場面を作り便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴が楽しみな方が多く、毎日実施している。出来るだけ、本人の希望される時間や順番に実施できるように配慮している。浴室にはリフトが設置しており、重度の入居者の方も安全に安心して浴槽に入ることができる。	毎日入浴を行い、入浴を楽しんでいる。本人の希望する時間や順番に配慮して、習慣や気持ちを大切に支援している。浴室はリフトが設置しており、重度の利用者も気持ち良く、安全な入浴支援を行っている。足浴もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望時間に就寝していただいている。夜間眠れない方は、職員と一緒に過ごす等落ち着いて過ごせるようにしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬は職員で管理し、内容については薬剤管理情報のファイルにて随時確認することができるようにしている。誤薬がないように与薬時は職員2人で確認するなどマニュアルに沿って行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の興味のある事や楽しみ等を理解し、実施できるように支援している。家事では洗濯物畳みや料理の下ごしらえなど手伝い頂いている。塗り絵や計算ドリル、音楽を聴くなど個々で選択し取り組まれている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に施設周辺の散歩に出かけたり、受診帰りに買い物を行うなど実施している。家族の協力の下、お彼岸やお盆など墓参り等に外出する入居者の方も居る。ドライブなどを楽しみにされ、公園などに出かける事もある。	日常は近隣の散歩に行ったり、受診帰りに買い物をしたり、馴染みの美容室に出かけている。ドライブを兼ねてコスモス・ひまわり・紫陽花・バラ園に出かけ、季節の花見を楽しんでいる。年間計画を立てて、遠足や初詣等にも出かけている。家族の協力で外出や外泊する利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自分で管理している人は居ないが、訪問販売時などに預かっているお金を本人へ手渡し、支払いをする機会を作っている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の要求がある人は、職員でかけ家族と会話できるようにお手伝いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは季節を感じて頂けるように装飾を行っている。また、炊事場より食事の準備の際の物音や匂いなど感じるようになるようになってきている。定時に室温のチェックや換気を行い気持ちよく過ごせるように努めている。	玄関が広く、共用空間は天井が高く大きな窓があり、柔らかい色彩のカーテンがかけられ、湿度・室温の管理がされている。掘り炬燵式の畳のコーナーもある。テレビの近くに心地よいソファが置かれ、食後にゆっくりとくつろげる。台所の食事の準備が見え家で過ごすような感覚である。壁には七夕飾りや手づくり花火が飾ってあり、季節感があり、居心地よい空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々に自分の落ち着ける場所があり、ソファなどで過ごされている。また、気の合う入居者同士で会話したり、和室で洗濯物を畳むなどゆっくりと過ごせるスペースになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自分の馴染みのものを持参して頂くようにしている。タンスやテーブル、写真や飾り物などを配置している人もおり、落ち着ける空間になっている。	居室の窓は出窓になっている。ベッドやクローゼット・エアコンが設置されている。家から持ち込まれた寝具や椅子・テーブル・写真・自作の作品などが飾られて、落ち着いて居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂の表記や自分の居室に写真や名前を掲示していることで理解できる人もいる、混乱する入居者の方には、使用するトイレや洗面所などを1ヶ所に決めて統一することで理解できるケースもある。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない